

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 13

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		ホテル日の出岬法面補修工事				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名	管財係	
	管理職	職名	課長	作成者	主査	
		氏名	久保田和孝		氏名	澤田玲奈
事業の概要	降雨により芝活着面に雨水が入り込み法面崩落及び亀裂の被害が生じたため修復工事を実施。				全体計画 / 単年度のみ (平成 21 年度 ~ 21 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 4,600 千円 事業費計 4,600 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化				
	事務事業の種類	自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	4,463 千円	千円	千円	千円
	合計	千円	4,463 千円	千円	千円	千円

591

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬施設地	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	天災等による被害	法面補修工事			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	補修による環境美化	法面補修工事	目標年度	平成21年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	天災等による被害拡充の防止及び環境美化を図る		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
法面補修工事	ホテル駐車場・海側車道・町道バス停裏の法面が崩落及び亀裂の被害が生じたため、法面 274㎡の補修工事を実施。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	法面崩落及び亀裂が生じ、被害拡充の防止及び環境美化を図るため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	被害の拡充防止や環境美化が図られ有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	法面芝の活着性を向上を図るため、コスト削減は難しい。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	ホテル利用者の安全な通行の確保ができ公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
補修することにより被害拡充防止や環境美化が図られた。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	終了		

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--